maxell

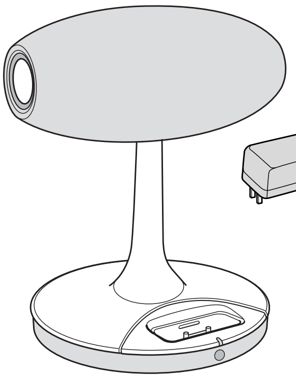
タイムドメインスピーカー
MXSP-4000.TD

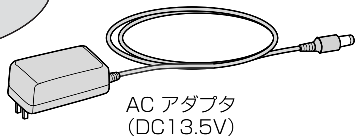
保証書付　Ver. 1.0

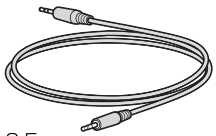
取扱説明書

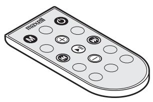
このたびはマクセル製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
また、この説明書（保証書を含みます）は大切に保管してください。
別紙で追加情報が同梱されているときは必ず参照してください。

梱包品の確認


本体


AC アダプタ
（DC13.5V）


φ3.5mm
ステレオミニプラグケーブル
（約1.0m）


リモコン
（CR2032 1 個付属）

取扱説明書
保証書付き
（本書）

1 はじめに

取扱説明書をお読みになるにあたって

- この取扱説明書については、将来予告なしに変更することがあります。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- この取扱説明書につきましては、万全を尽くして製作しておりますが、万一ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- この取扱説明書の一部または全部を無断で複写することは、個人利用を除き禁止されております。また無断転載は固くお断りします。

免責事項（保証内容については保証書をご参照ください。）

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 保証書に記載されている保証がすべてであり、この保証の外は、明示の保証・黙示の保証を含め、一切保証しません。
- この取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送用機器など人命に係わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、当社は一切責任を負いません。
- 本製品は日本国内仕様です。日本国外での使用に関し、当社は一切責任を負いません。

2 安全上のご注意

⚠警 告	「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷*1を負う可能性があること」を示します。
⚠注 意	「誤った取り扱いをすると人が傷害*2を負う可能性または物的損害*3が発生する可能性があること」を示します。

＊1：重傷とは、失明やけが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、及び治療に入院や長期の通院を要するものを示します。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を示します。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・愛玩動物にかかわる拡大損害を指します。

絵表示の例	△	△記号は製品の取扱いにおいて、発火、破裂、高温等に対する注意を喚起するものです。図の中に具体的な注意な内容が描かれています。
	⦸	⦸記号は製品の取扱いにおいて、その行為を禁止するものです。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。
	●	●記号は製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。具体的な強制内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。

⚠警 告

ACアダプタは付属以外のものを使用しないでください。
火災・感電の原因となります。（禁止）

ACアダプタをタコ足配線しないでください。
発熱により、火災の原因となります。（禁止）

ACアダプタを傷つけたり、重いものを乗せたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、加工したりしないでください。
ACアダプタが破損し、火災・感電の原因となります。（禁止）

ACアダプタが破損したときは使用しないでください。
破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。（禁止）

修理や改造、または分解しないでください。
火災、感電、またはけがをする恐れがあります。修理や改造、分解に起因する物的損害について、当社は一切責任を負いません。また、修理や改造、分解に起因する故障に対する修理は保証期間内であっても有料となります。（禁止）

⚠ 警告

乳幼児の手の届く所へ置かないでください。
電池の誤飲による窒息や胃などへの障害、またコードが体に絡まることでの窒息などの原因になる恐れがあります。
万一事故が発生した場合は、ただちに医師の診断を受けてください。
禁止

雨や雪にあたる所、水辺、風呂場など、湿気の多いところでは使用しないでください。
火災・感電の原因になる恐れがあります。
禁止

雷が鳴り出したら使用しないでください。
感電の原因になる恐れがあります。
禁止

近くに花瓶、植木鉢、コップ、薬品、化粧品、水などの入った容器を置かないでください。
こぼれたり、中に入ると火災・感電の原因となります。
禁止

開口部から金属類や燃えやすい物を入れないでください。
火災・感電・けがの原因となります。
禁止

⚠ 注意

不安定な場所に置かないでください。
落下によるけがや故障の原因となることがあります。
禁止

油煙や、湯気が当たるようなところには置かないでください。
火災・事故の原因となることがあります。
禁止

冷気が直接吹き付けるところや、極端に寒い場所には置かないでください。
露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。
禁止

大音量で長時間つづけて聴かないでください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聴かないでください。聴力に悪い影響を与えることがあります。
禁止

はじめから音量を上げすぎないでください。
突然大きな音が出て耳をいためることがあります。操作する前には、音量を絞っておいてください。
禁止

異常に温度が高くなるところへ置かないでください。
機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になります。夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。電池が漏液する原因にもなります。
禁止

砂浜や砂地など砂の入りやすいところ、ホコリの多いところでは使用しないでください。
焼損・発火や事故の原因となることがあります。
禁止

布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもり本体が変形し、火災の原因となることがあります。
禁止

近くにブラウン管を置かないでください。
色むらが起きる場合があります。
注意

外部機器の接続には取扱説明書をよくお読みください。
本機および、書く機器の取扱説明書をよく読み、電源を切った上で接続してください。
注意

ACアダプタは強く引っぱらないでください。
故障や断線の原因となります。
禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。
ぬれ手禁止

電源プラグは根元まで確実に押し込んでください。
差込みが不十分のまま使用すると、感電やホコリの堆積による火災の原因となる恐れがあります。
禁止

ACアダプタを熱器具に近づけないでください。
コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。
禁止

お手入れや長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
感電やけがの原因となります。
電源プラグを抜く

電池についての安全上のご注意

リチウムコイン電池はリチウム、有機溶媒など可燃性物質を内蔵しており、使い方を誤ると、電池が漏液、発熱、破裂、発火したり、怪我や機器故障の原因となるので次の事を必ず守ってください。

⚠ 警告

- 電池は、乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。
- この電池は絶対に充電しないでください。充電すると電池内の電解液が加熱され、ガスの発生で内部圧力が上昇したりして、電池を漏液、発熱、破裂、発火させるおそれがあります。
- 電池を火の中に入れたり、加熱、分解しないでください。絶縁物などを損傷させ、電池を漏液、発熱、発火させる恐れがあります。
- 電池の＋と－を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こし、電池を漏液、発熱、破裂、発火させる恐れがあります。
- 電池の液が目に入ったときは、目に障害を与える恐れがありますので、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、医師の治療を受けてください。
- 電池の＋と－を針金などで接続したり、また金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。電池がショート状態となり、過大電流が流れて電池を漏液、発熱、破裂、発火させる恐れがあります。
- この電池に漏液や異臭があるときは、漏れた電解液に引火する恐れがありますので、すぐに火気から遠ざけてください。
- 電池に直接はんだ付けをしないでください。熱により絶縁物などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂、発火させるおそれがあります。
- 電池を保管する場合および破棄する場合には、テープなどで端子部を絶縁してください。電池を他の電池や金属製のものと混ぜたりすると、電池がショートして漏液、発熱、破裂、発火する恐れがあります。
- 電池はテープなどで皮膚に固着しないでください。皮膚に障害を起こす恐れがあります。

3 特長

- タイムドメイン理論に基づき、振動を抑制し音源に近い再生を可能にする独自フォルム本体と小口径フルレンジユニットを採用。
- 圧縮音源をさらに聴き易くするコンフォートプレイモード搭載。
- iPodのドックコネクタを搭載。iPodのリモコン操作および充電が可能。(Universal Dockアダプタ対応。)
- 多くのオーディオプレーヤーで使えるφ3.5mmステレオミニプラグケーブル標準装備。

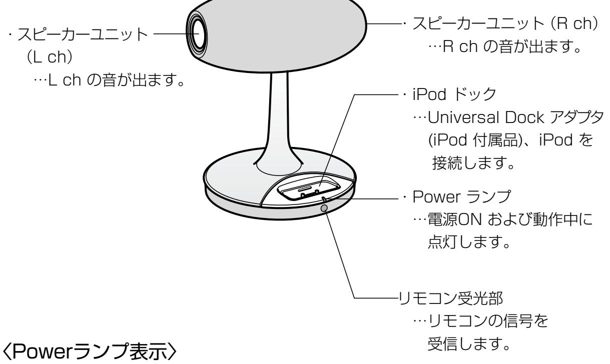
＊対応iPodはiPod 第4世代、第5世代、iPod classic、iPod touch、iPod mini、iPod nano 第1世代、第2世代、第3世代。(08年1月現在)
iPod shuffleはドックコネクタではなく、φ3.5mmステレオミニプラグケーブルによる接続となります。

＜タイムドメイン理論とは＞

音の変化を時間で捉え、原音の波形に何も加えず、何も欠落させず、正しく忠実に再生することを追究して構築された理論です。この理論では音の定位や、演奏家・作曲者が音楽に込めた繊細な音の表現をより忠実に再生する事が可能です。
なお、このタイムドメイン理論はタイムドメイン社の由井啓之氏が提唱する理論です。

4 各部の名称と説明

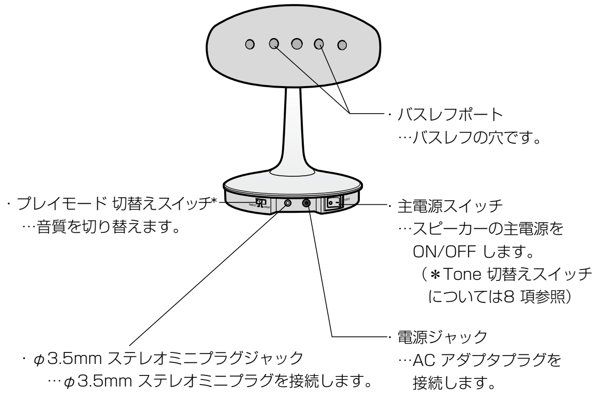
本体



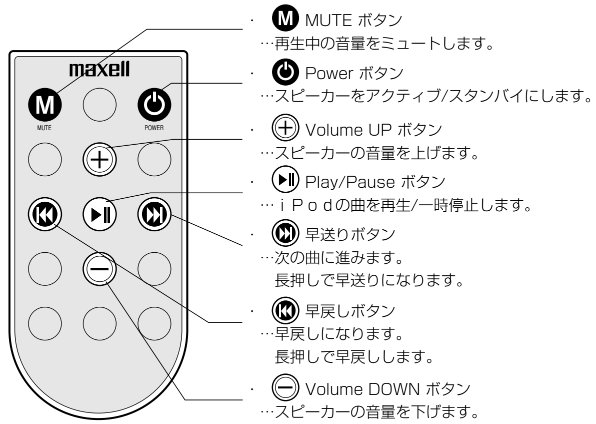
〈Powerランプ表示〉

主電源スイッチ(本体) OFF	無点灯
主電源スイッチ(本体) ON(アクティブ状態)	青点灯
リモコンPower スイッチ OFF(スタンバイ状態)	赤点灯
リモコンPower スイッチ ON(アクティブ状態)	青点灯
リモコン受信時	青点滅(約1 秒周期)
MUTE/早送り/早戻し 時	青点滅(約1 秒周期)

[注意]
リモコン受光部を隠さないでください。



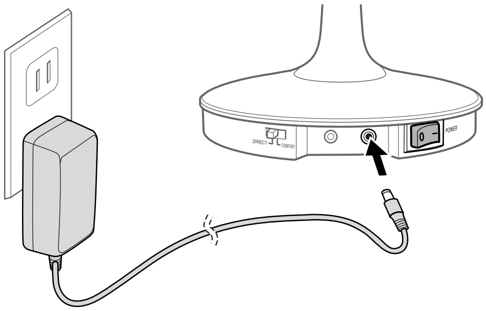
リモコン



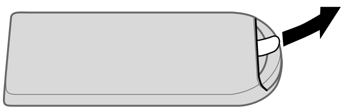
[注意]
リモコンの動作は次の範囲内で行ってください。正面方向:5m / 上下左右30度:5m

5 スピーカーの準備をする

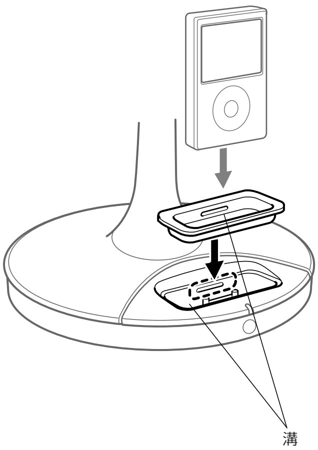
1. AC アダプタをつなぎます。



2. リモコンの絶縁シートを抜き取ります。

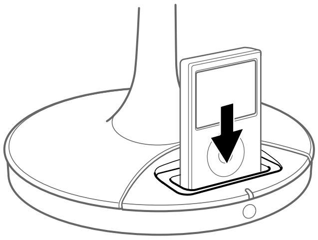


3. iPod を接続する場合は、iPod に付属しているUniversal Dock アダプタを取り付けてください。
（＊Universal Dock アダプタは本製品には付属しておりません。）取り付ける際は、図の様にUniversal Dock アダプタの溝と本体のiPod ドックの溝が重なるように、手前側から入れ「カチッ」と音が鳴るまで押し込みます。



6 iPod で音楽を楽しむ。

1. スピーカーの主電源がOFFの状態（Powerランプ無点灯）または、スタンバイになっている状態（Power ランプ赤点灯）でお手持ちのiPod をドックに接続します。



2. スピーカーをアクティブ状態にします。
主電源スイッチをONにするか、主電源スイッチがONになっている状態で付属のリモコンのPowerボタンを押し、本体をアクティブ状態にしてください。

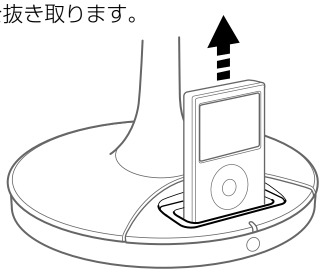
3. iPod の操作をリモコンまたは、 iPod 本体を直接操作して音楽を再生します。
音量調節はリモコンのVolume ボタンで行います。

[注意]
ボリューム調節は付属のリモコンでのみ行えます。
ドック接続の場合、IPod 本体の音量を変えてもスピーカーからの音量に反映されません。
また、iPod 本体のボリュームを変えた後にヘッドホン等で使用する際には、iPod のボリュームに注意してください。

4. リモコンまたはiPod を直接操作しiPod の音楽を停止したら、付属のリモコンのPower ボタンを押しスピーカーをスタンバイ状態にします（Power ランプ赤点灯）。

[注意]
長期の間ご使用にならない場合は、本体背面の主電源スイッチで主電源をOFFにしてください。
主電源をOFFにすると、音量は工場出荷時の状態に戻ります。

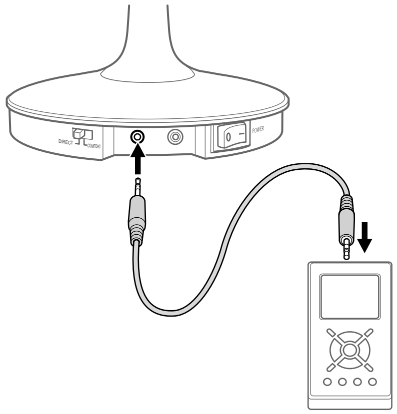
5. iPod を抜き取ります。



[注意]
ｉＰｏｄを抜き取る際は図の様に台座に手を沿え、スピーカーを安定させた状態でゆっくりとｉＰｏｄを抜き取ってください。

7 i Pod 以外のプレーヤーで音楽を楽しむ。

1. スピーカーの主電源がOFFの状態（Powerランプガ無点灯）または、スタンバイになっている状態（Power ランプ赤点灯）で、背面にあるLine in と、再生したいプレーヤーのLine Out端子またはイヤホン端子を付属の
φ3.5mm ステレオミニプラグケーブルで接続します。



2. スピーカーをアクティブ状態にします。
主電源スイッチをONにするか、主電源スイッチがONになっている状態で付属のリモコンのPowerボタンを押し本体をアクティブ状態にしてください。

3. プレーヤーの音楽を再生します。音量調節は付属のリモコンとプレーヤーのVolume ボタンで行います。

[注意]
ボリューム調節はリモコンと接続したプレーヤー本体で行えます。
プレーヤー本体のボリュームを変えた後にヘッドホン等で使用する際には、プレーヤーのボリュームに注意してください。
また、Line in とｉＰｏｄドックに同時に接続されたｉＰｏｄでは、Line in の音が優先されます。

〈音量に注意してください〉
耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。
スピーカーで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聴きください。

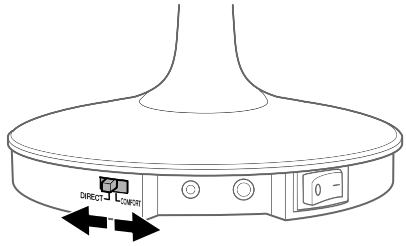
4. プレーヤーの音楽を停止し、リモコンのPower ボタンを押し、スピーカーをスタンバイ（Power ランプ赤）にします。

[注意]
長期の間、ご使用にならない場合は本体背面の主電源スイッチで主電源をOFFにしてください。
主電源をOFFにすると、音量は工場出荷時のものに戻ります。

5. 本体とプレーヤーを接続しているφ3.5mm ステレオミニプラグケーブルを取り外してください。

8 プレイモード 切換えスイッチについて

再生する音源や楽曲、好みの音質に合わせた音質調整が行えます。

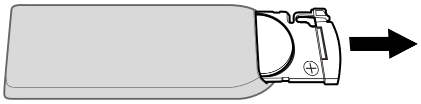


DIRECT：フラットの音質特性で再生します。
CD音源やAIFF、WAV、ロスレスエンコード等の音源を再生する際に有効です。
COMFORT：圧縮音源等で発生しやすい、超高域のノイズや歪み等を聴き疲れの少ない再生帯域に調整し再生します。
mp3等の圧縮音源の再生に有効です。

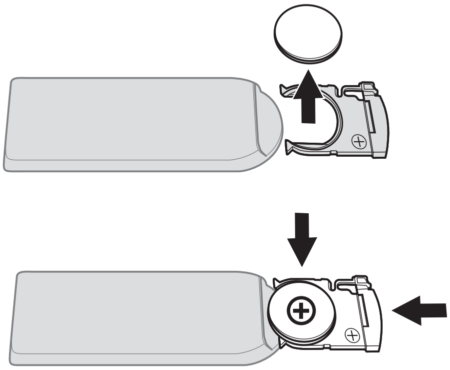
[注意]
再生する楽曲や音量によって効果は異なります。

9 リモコンのボタン電池の交換のしかた

1. リモコン背面にあるロックレバーを左に押したままトレーを引きだします。



2. 新しい電池（CR2032 1 個）に交換した後、トレーをリモコンに戻します。



[注意]
リモコンには指定以外の電池は使用しないでください。
トレーに対し上面に＋極になるように電池を置いてください。
電池交換の際は電池の向きを間違わないように注意してください。
製品付属の電池はお試し用です。
トレーを引き出す際は、手、指、爪を怪我しないように十分注意してください。

10 取り扱い上の注意

- 構造上スピーカーユニット部に直接触れることができますが、スピーカーユニット部に直接触れたり、刃物や鋭利なもの、突起物で突かないようにしてください。スピーカーユニット部が破損すると音が出なくなったり、音質が変化する恐れがあります。
- 持ち運びの際はネック部やスピーカーユニット部ではなく、台座から持ち運ぶようにしてください。
  また、その際はケーブル類、プレーヤー類は必ず取り外してください。
- iPod ドックコネクタは大変精密なパーツです。直接手で触ったり、iPod を抜き差しする際は十分注意してください。
- 直射日光の当たる場所や、湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所には置かないでください。故障の原因となります。
- 手あかや指紋で汚れた場合はメガネ拭き等の乾いた柔らかい布でふき取ってください。その際もスピーカーユニット部には絶対に触れないようにご注意ください。なお、洗剤や溶剤は使用しないでください。
- スピーカー胴体とネック部に少し“あそび”があります。

11 故障かな？と思ったときは

電源が入らない（スタンバイ状態にならない）	・AC アダプタが確実にコンセントと接続されているか確認してください。 ・AC アダプタプラグがスピーカー本体のAC ジャックに確実に接続されているか確認してください。 ・主電源スイッチがON になっているか確認してください。 ・Powerランプが赤になっているか確認してください。 ・リモコンでPowerボタンを押してください。
電源が入らない（アクティブ状態にならない）	・リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がないか確認してください。 ・リモコンの電池が新しいものか確認してください。 ・主電源スイッチを入れなおしてください。
音が出ない	・主電源スイッチがON になっているか確認してください。 ・Power ランプが青になっているか確認してください。 ・接続したiPod、プレーヤー、スピーカーそれぞれの音量を確認してください。 ・ドックコネクタやステレオミニプラグケーブルがそれぞれ確実に根元まで挿入しているか確認してください。 ・スピーカー本体のミュート機能が働いていないか確認してください。 ・iPodとφ3.5mmステレオミニプラグケーブルの両方が接続していないか確認してください。
リモコンが利かない	・リモコンと本体との距離と角度を確認してください。（動作範囲：正面5m/上下左右30度5m） ・リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がないか確認してください。 ・リモコンの電池トレーがしっかり挿入されているか確認してください。 ・リモコンの電池が新しいものか確認してください。
Universal Dock アダプタが上手くはまらない。	・iPod ドック部に障害物がないか確認してください。 ・Dock アダプタの向きを確認してください。表面に溝があるほうが奥になります。 ・Dock アダプタは手前に傾けながら挿入して、「カチ」っと鳴るまで押してください。
iPod が充電されない	・AC アダプタが確実にコンセントと接続されているか確認してください。 ・AC アダプタプラグがスピーカー本体の電源ジャックに確実に接続されているか確認してください。 ・本体の主電源スイッチがON になっているか確認してください。 ・本体のiPod ドック部に障害物がないか確認してください。 ・Universal Dock がお手持ちのiPod に対応しているものか確認してください。 ・お手持ちのiPod の世代を確認してください。* ・お手持ちのiPod のソフトウェアバージョンが最新のものか確認してください。

※対応iPod はiPod 第4 世代、第5 世代、iPod classic、iPod touch、iPod mini、iPod nano 第1 世代、第2 世代、第3 世代。
（08年1 月現在）

12 仕様

品名	タイムドメインスピーカー
形式	タイムドメイン式アクティブスピーカー
型番	MXSP-4000.TD
実用最大出力	5W+5W
スピーカーユニット	防磁型φ44mm
電源	ACアダプタ　13.5 V / 1.7A
外形寸法	（幅）220 ×（高さ）240 ×（奥行き）170mm
質量	約870g（本体のみ）
付属品	ACアダプタ、φ3.5mm ステレオミニプラグケーブル、リモコン（CR2032 × 1 個付属）、取扱説明書（保証書付）

- 記載の内容は2008 年1 月現在のものです。
- 製品仕様および外観は、予告なく変更される場合があります。
- 掲載のイラストは、実物と異なる場合があります。
- iPod は米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- タイムドメインスピーカー®は株式会社タイムドメイン社の登録商標です。このスピーカーは、タイムドメイン社の由井啓之氏が提唱するタイムドメイン理論を適用しています。

TIME DOMAIN

- その他、記載されている名称、商標、ロゴ、サービスマークは、マクセルまたは他社の登録商標または商標です。

13 保証とアフターサービス

■ 保証書（裏表紙）に関して

保証書は必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店からお受け取りください。また、保証書はよくお読みの上で、大切に保管してください。
保障期間は、お買い上げ日から1 年間です。

■ 本製品に関するお問合せ先

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

日立マクセル株式会社 お客様ご相談センター
〒102-8521　東京都千代田区飯田橋2－18－2
TEL (03)5213-3525 FAX (03)3515-8261
受付：月曜日〜金曜日まで(ただし祝祭日および当社休業日を除く)
9：30〜12：00／13：00〜17：00
（尚、誠に勝手ではございますが、2009年1月26日（月）より受付終了時間を17:00に変更させていただきました。）
ホームページ　http://www.maxell.co.jp/